青谷町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画　進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間 短期 ～29年度	推進期間 中期 ～R元年度	推進期間 長期 ～R5年度	短期（～29年度）における総括 成果（何をどれだけ）	中期（～令和元年度）における総括 成果（何をどれだけ）	中期（～令和元年度）における総括 次年度以降への課題・方向性	R3年度 実施内容	R3年度 予算額（千円）	R3年度 決算額（千円）	R3年度 目標達成度	R3年度 事業の方向性	R4年度（実績） 実施内容	R4年度（実績） 予算額（千円）	R4年度（実績） 決算額（千円）	R4年度（実績） 目標達成度	R4年度（実績） 事業の方向性	R5年度（計画） 実施内容	R5年度（計画） 予算額（千円）	R5年度（計画） 決算額（千円）	R5年度（計画） 目標達成度	R5年度（計画） 事業の方向性	備考	担当課
①地域コミュニティの増進、活力のあるまちづくり	①青谷地区を中心としたコンパクトなまちづくりを進め、賑いや癒わいの空間を創出する。	地域生活拠点の整備【生活基盤の充実】【工業の振興】	○青谷憩いの場整備等	○青谷憩いの場整備等		広場測量設計を完了。 旧公民館及び講堂の解体撤去を完了。	計画していた施設整備をすべて完了 広場は公共空地として都市環境課が所管し、維持管理は支所で行うが芝生の管理は地域の団体に依頼する。	—	—	施設整備　完了	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	R元年度で完了 青谷ふうこを広場	都市企画課 青谷町総合支所
			○JR駅前広場周辺整備等	○JR駅前広場周辺整備等		・広場測量設計業務を完了。 ・バス待合所建築設計を完了。 ・駐在所の解体撤去を完了。	計画していた施設整備をすべて完了 バス待合所に観光案内コーナーを併設し、観光情報の提供に利用する。	—	—	施設整備　完了			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	R元年度で完了 JR青谷駅前整備	都市企画課 青谷町総合支所
			○企業誘致	○企業誘致	○企業誘致	西部地域三町で候補地をピックアップし、工業団地造成における誘致話に対する関係課の意見聴取を行いながら、候補地を検討している。企業立地・支援課と連携し、企業誘致に努めている。	工業団地設置における誘致話や候補地の検討	工業団地設置における誘致話や候補地の検討に努める。	工業団地設置における誘致話や候補地の検討	—	—	C.未達	3.現状維持	鳥取市に立地したいという企業の情報があったため未実施	—	-	C.未達	3.現状維持	鳥取市に立地したいという企業の情報があれば、企業立地・支援課と連携をとりながら工業団地設置における誘致話や候補地の検討等を実施	—					企業立地・支援課 青谷町総合支所
	②全体的に人口が減少し、高齢化が進む状況の中、各地区公民館は地区の特性を活かした事業に取り組んでいく。	地域活性化イベントの再構築【協働のまちづくりの推進】	○鳥取市西いなば地域振興グランドデザインとの連携 ○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着	○地域活性化イベントの再考・定着 ○まちづくり団体の育成 ○まちづくり協議会組織の充実	因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭・和紙イベントをとおして因州和紙をPRし、地区住民あげての日置地区の農産物販売や食のバザーなどで和紙産地の魅力を発信した。 青谷ようこそ市場 ・青谷ようこそ市場は、支所が事務局となっており、参加団体の認識が低かったが、H29年度より毎回の担当団体を決め、自主性を高める試みを実施。一定の効果があったと判断。 ・1年目のH28年度より2年目のH29年度は来場者増。	因州和紙産地強化事業 ・因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭を開催、日置地区まちづくり協議会と一緒になり実施。チラシの新聞折り込みを行い、町外へPRした。 ・鳥取市地産地消フェア等様々な機会を通して因州和紙をPRした。 ●町内外からの集客の増加に結び付けることができ、「和紙の里ひおき」の新たな活性化イベントの開催、定着による成果を得ることができた。 青谷ようこそ市場 ・町内からの集客を図るため、チラシの新聞折り込みを行い、広くイベントを周知した。 ・青谷上寺地道跡調査室やから～伝承館等の企画団体と連携し、多様なイベントを実施。 ●年度ごとに企画を再検討し、イベント展開の再考を行うとともに、新たな出店者増につなげるなど、青谷地域のイベントとして定着を図ることができた。 　述べ出店数　H30年度　77 　　R元年度　84	因州和紙産地強化事業 ・因州和紙イベント開催を通して、魅力の発信、集客、企画内容、PR方法等について、更に効果的な取組を検討する。 ・技術伝承・後継者育成等因州和紙の産地強化につながる取組を検討する。 青谷ようこそ市場 ・各回ごとに中心となる企画団体を決め、自主性を高めているが、あおいちを含めた全体の自主運営には至っていない。中心的役割を果たす団体の育成に継続して取り組む。 鳥取市西地域連携による広域的なイベント開催を検討する。	伝統産業である因州和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的とした定期的イベント開催及び青谷上寺地道跡の利活用を推進する事業の支援 （青谷因州和紙産地強化事業） ・因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭（11月）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	2,850	889	C.未達	3.現状維持	伝統産業である因州和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的とした定期的イベント開催及び青谷上寺地道跡の利活用を推進する事業の支援 **〈青谷因州和紙産地強化事業〉** ・因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭(11月)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたが、とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタに参加した。 ・和紙PR事業でイクイ オ、こうぞ栽培への支援 ・和紙PR事業ですくすく保育園園児の作品を道の駅に展示 **〈青谷ようこそ市場事業〉** ・青谷ようこそ市場（3回開催予定）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止したが、10/23　青谷ようこそ能前広場で開催（来場者約400人） ・あおいちギャラリー（9/3～25、入場者721人） ・あおいちイルミネーション（12/15～1/15） **〈青谷上寺地遺跡利活用推進事業〉** ・とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタ（11/13、来場者約1,800人） ・青谷かみじちスタンプラリー（11/6～11/27、参加者124人） ・青谷かみじち史跡公園オープンに向けて、まちのにぎわいづくりを考えるつどい 　第1回　9/23開催　31人　第2回　2/4開催　24人	2,850	1,969	C.未達	3.現状維持	伝統産業である因州和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的とした定期的イベント開催及び青谷上寺地道跡の利活用を推進する事業の支援 **〈青谷因州和紙産地強化事業〉** ・因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭(11月)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・和紙PR事業で10/11青谷小・中学生による手作り和紙しおり配布による青谷魅力発信の取組を支援 ・和紙PR事業でイクイ オ、こうぞ栽培への支援 **〈青谷ようこそ市場事業〉** ・青谷ようこそ市場（7・9月開催予定） ・あおいちギャラリー（10/21～11/5） ・あおいちイルミネーション（12/15～1/15） **〈青谷上寺地遺跡利活用推進事業〉** ・とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタ(11/13、来場者約1,800人) ・青谷かみじちスタンプラリー(11/6～11/27、参加者124人) ・青谷かみじち史跡公園オープンに向けて、まちのにぎわいづくりを考えるつどい （だ（第1回頃、第2回2月予定）	2,850					青谷町総合支所
		地域コミュニティの充実【協働のまちづくりの推進】	○各地区のまちづくりリーダーの発掘 ○各地区のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討	○各地区のまちづくりリーダーの育成 ○各地区公民館周辺整備検討		・新たな団体や地域づくりリーダーの育成に繋がりがたかった。	・青谷の地域資源（鳴り砂、因州和紙、青谷上寺地遺跡など）を次世代に継承するため、様々な取組を行う青谷地域づくり連絡協議会への支援を行った。 ・精積的に都市部の地区と交流を図り、活動の輪を広げる団体を支援した。 ●まちづくりに関する各種団体等の支援を通じて意識醸成を図るなかで、意欲的に取組む団体・リーダーの育成を進めることができた。	・青谷地域の自然や歴史文化の魅力を地域住民に啓発するとともに、保全活動を推進する青谷地域づくり連絡協議会への支援を行う。 ・各地区のまちづくり協議会の組織強化を支援し、リーダーの育成につなげる。	・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体「青谷地域づくり連絡協議会（9団体）」を支援：　因州和紙活用活動、環境美化活動、鳴り砂保全活動、青谷上寺地遺跡学習活動、ふるさとPR活動、長尾鼻自然保全活動、池田市文流促進活動、青谷の魅力発掘活動、観光促進活動を実施	1,130	789	B.概ね達成	3.現状維持	・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体「青谷地域づくり連絡協議会（8団体）」を支援：　因州和紙活用活動、環境美化活動、鳴り砂保全活動、青谷上寺地遺跡学習活動、ふるさとPR活動、長尾鼻自然保全活動、青谷町物産販売促進活動、青谷の魅力発掘活動、観光促進活動を実施 ・各地区のまちづくり協議会組織体制の確認及び課題の把握、情報交換	1,130	1,119	A.達成	2.改善継続	・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体「青谷地域づくり連絡協議会（7団体）」を支援：　因州和紙活用活動、美化活動、鳴り砂保全活動、青谷上寺地遺跡学習活動、青谷町物産販売促進活動、青谷の魅力発掘活動、観光促進活動を実施 ・各地区のまちづくり協議会組織体制の確認及び課題の把握、情報交換	1,130					協働推進課 青谷町総合支所
		①「卓球のまち青谷」の復活【スポーツ・レクリエーションの振興】	○青谷高等学校活性化に向けた組織立ち上げ ○「卓球のまち青谷」復活に向けて町民の意識改革・卓球教室・卓球大会の開催 ○各種イベント等への参画 ○留学生の受け入れ ○人材育成（通訳等） ○郷土愛を育む事業（青谷再発見、子どもガイド養成） ○国際交流イベントの推進		○卓球のまちづくりの推進	①「卓球のまち青谷」の復活 ・卓球教室・青谷オープン卓球などを通して一定の成果があったものと考える。 ②国際交流事業 ・交流先の自治体の考えにも影響され、中国太倉市との交流は縮小状況。 ・青谷高等学校も交流先を韓国居昌中央高等学校と限定し、国際交流事業は縮小傾向。 ③保育園、小中高との連携強化 ・地域創造学校等の取組で保育園、小中の連携が図られた。 ・青谷高等学校の活性化を支援する会が平成29年度結成されたことにより今後の地域との連携が期待できる。	「卓球のまち青谷」の復活 　地元住民が卓球にふれあう機会として、オープン卓球大会で開催する講習会への参加促進。	「卓球のまちづくり」の推進 ・出張卓球講習会の開催協力についての検討 ・青谷高校卓球部及びOBによる卓球教室開催協力についての検討 ・第1回青谷オープン卓球大会の開催支援（11/6,7） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止	400	2	C.未達	2.改善継続	「卓球のまちづくり」の推進 ・卓球大会の協力 ・体育協会青谷町支部主催で、「青谷上寺朗杯卓球大会」を12月4日に開催した。（参加者：56名） ・第8回青谷オープン卓球大会の開催支援（11/5,6）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	400	3	C.未達	2.改善継続	「卓球のまちづくり」の推進 ・卓球大会の協力 ・体育協会青谷町支部主催で、「青谷上寺朗杯卓球大会」を12月3日に開催予定。 ・青谷高校卓球部員及びOBによる卓球教室開催協力 ・第8回青谷オープン卓球大会の開催支援（11/4、5）	400					青谷町総合支所
	③青谷高等学校は、特色のある取組や地域との繋がり強化に取り組む。【教育の充実・郷土愛の醸成】	~~③国際交流事業の継続・拡大~~ ②地域住民と連携した「青谷学」「該題探究」取組の推進 ~~③保育所、小中高との連携強化~~			○郷土愛を育む事業（青谷再発見、子どもガイド養成） ○郷土愛を育む事業・青谷高等学校の青谷学への事業協力 ・小・中・高校生のイベント等への参画 ○青谷高校の魅力化の取組の支援	国際交流事業 自治体間による交流事業継続が難しくなる中で、学校教育における国際化の特色づくりの側面から、地域活性化の取組として支援・協力体制を維持・継続に努めた。 青谷高等学校の魅力づくりの取組協力・支援「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域振わい創出実行委員会」と連携し、青谷学、地域課題研究の取組を支援する中から、青谷高校の課題研究「青谷木綿の復活」の取組等へ繋げるなど、地域魅力資源の発掘成果を得ることができた。 保育園、小中高との連携強化 青谷中学校区地域創造学校運営協議会の取り組を継続する中で、保育園、小中高間のつながりを創出し、地域への愛着を育てる相互の連携関係を継続することができた。	高校を中心とした国際交流事業の活動の継続につなげていく。 地域と連携した青谷高等学校の魅力づくりの取組の協力・支援。 「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域振わい創出実行委員会」と連携し、青谷学、地域課題研究への継続的な支援。 青谷中学校区地域創造学校運営協議会の取組に協力し、保育園、小中高との連携を継続する。	②については（※青谷高等学校カリキュラム見直し等により推進計画施策から削除する。）	—	—	—	—	②については（※青谷高等学校カリキュラム見直し等により推進計画施策から削除する。）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	削除	青谷町総合支所
									地域と連携した青谷高等学校の魅力づくりの取組の協力・支援 「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域振わい創出実行委員会」と連携し、青谷学、地域課題探究の支援	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	地域と連携した青谷高等学校の魅力づくりの取組の協力・支援 「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域振わい創出実行委員会」と連携し、青谷学、地域課題探究の支援 ・9/15高校生だっぴ、9/22青谷学（青谷のまちなみを知る）の実施協力 ・10/5「活性化を支援する会」の活動協議	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	地域と連携した青谷高等学校の魅力づくりの取組の協力・支援 「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域振わい創出実行委員会」と連携し、青谷学、地域課題探究の支援 ・9/15高校生だっぴ、10/4, 11, 18, 11/1青谷学Ⅱ（伯耆街道をゆく～青谷編～）の実施協力 ・2/7「活性化を支援する会」の活動協議	—					青谷町総合支所
									青谷上寺地遺跡を活かした「弥生文化探究」カリキュラム創設による考古学を打ちだした青谷高等学校の魅力化を推進する。 ・青谷上寺地遺跡利活用事業推進部会に参画 ※第15回全国高校生歴史フォーラムで県内初の優秀賞受賞	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	青谷上寺地遺跡を活かした「弥生文化探究」カリキュラム創設による考古学を打ちだした青谷高等学校の魅力化を推進する。 令和5年度から県外から青谷高等学校に入学し、青谷上寺地遺跡等を活用した地域学習を履修する生徒に対して支援をすることとした。 ※第16回全国高校生歴史フォーラムで佳作受賞	—	—	B.概ね達成	4.現状維持	青谷上寺地遺跡を活かした「弥生文化探究」カリキュラム創設による考古学を打ちだした青谷高等学校の魅力化を推進する。 令和5年度から県外から青谷高等学校に入学し、青谷上寺地遺跡等を活用した地域学習を履修する生徒に対して支援をすることとした。	—					青谷町総合支所
									保育園、小中高との連携強化 青谷中学校区地域創造学校運営協議会の取り組を継続する中で、保育園、小中高間のつながりを創出し、地域への愛着を育てる相互の連携関係を継続することができた。	青谷中学校区地域創造学校運営協議会の取組に協力し、保育園、小中高との連携を継続する。	③については（※青谷中学校区創造学校運営協議会が主体になり恒常的な運営となるため、推進計画施策から削除する。）	—	—	—	—	③については（※青谷中学校区創造学校運営協議会が主体になり恒常的な運営となるため、推進計画施策から削除する。）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	削除	青谷町総合支所
②地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり	①歴史的資源・自然的資源・農産物を含む地場産業・文化的資源などを道の駅を核として有効活用した取組を進めることが、中山間地域対策に重要であり、住民が誇れるまち・魅力あるまちをめざし交流人口の拡大を図る。	地場産業の育成【農林水産業の振興・成長産業化】	○地場産業の現状把握	○地場産業の現状把握		市民活動を通し、特産物の販売及びふるさと納税商品などへ販路拡大をPR。 ダイハツ工業生活協同組合との特産物の販売、取引を行った。	・市民活動を通し、県外のイベントへ出店し特産物の販売・PRを実施した。 ・県外企業への販路拡大でダイハツ工業生活協同組合との特産物の販売、取引を継続している。	・市民活動を通し特産物の販売促進を継続及びさらなる販路拡大。 ・ダイハツ工業生活協同組合との特産物の販売、取引も引き続き行っていく。	市民活動を通し、県外へ特産物の販売・PR及び企業等に販路拡大 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止 ・池田市とのダイハツ工業生活協同組合との特産物販売を継続。 　青谷ようこそ館でを通じて二十世紀梨396箱を販売	—	—	C.未達	3.現状維持	市民活動を通し、県外へ特産物の販売・PR及び企業等に販路拡大 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止 ・池田市とのダイハツ工業生活協同組合との特産物販売を継続。 　青谷ようこそ館でを通じて二十世紀梨396箱を販売	—	—	C.未達	3.現状維持	市民活動を通し、県外へ特産物の販売・PR及び企業等に販路拡大 ・コロナ禍で中止となっていた池田市との交流事業の再開を目指す。 ・池田市ダイハツ工業生活協同組合との特産物販売を継続	—					経済・雇用戦略課 農業振興課 青谷町総合支所
			○特産品の販路拡大	○特産品の販路拡大	○特産品の販路拡大																				
			○担い手育成と後継者の確保	○担い手育成と後継者の確保	○担い手育成と後継者の確保	就農者を中心とした担い手育成。現在、研修生2名が就農の研修中。H30年度に経営継承で就農予定、就農について関係機関の協力により育成指導中。	・農業研修生2名が、H29年度に就農研修を終え、H30年に経営継承により新規就農した。 ・H30年度から地域おこし協力隊員1名が原木シイタケ生産の研修を開始したが、令和元年度末をもって退職し、2年間の研修を終えた。	研修継続を予定していた地域おこし協力隊員が、急遽令和元年度末で退職を申止したため2年度の計画はなくなり、3年度以降に新たな事業に取組めるか再検討する。	鳥取農林業の事業で、令和3年4月から3年間、漁協青谷支所（長和瀬）にて2名が就業研修を実施。	—	—	A.達成	3.現状維持	鳥取農林業の事業で、令和4年度も漁協青谷支所（長和瀬）1名、夏泊支所1名、計2名の就業研修を継続実施。	—	—	C.未達	3.現状維持	就業研修等への支援の継続	—					林務水産課 農業振興課 農業委員会 青谷町総合支所
			○夏泊朝市の実施・地域の活性化・交流人口の拡大	~~○夏泊朝市の実施~~・水産資源を活用した地域の活性化・交流人口の拡大		例年に比べ時化等の影響もあり漁の回数は減ったが昨年並みの実績はあった。	夏泊朝市は鳥取県漁協夏泊支所の運営で毎年開催され、集客も安定して認知度も上がってきた。	・夏泊朝市は、実施主体である漁協の方針により事業整理され、令和2年度からは実施されないことになった。定置網漁は継続される。 ・「あおいち」イベントと漁協夏泊支所の協力は継続す方向で協議。	夏泊の定置網漁は今後も継続。 ・5/17　夏泊朝市の定期開催について県漁協・夏泊支所と協議。R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送り ・「あおいち」イベントを夏泊漁港で開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止	—	—	C.未達	3.現状維持	「あおいち」イベントを夏泊漁港で開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止	—	—	C.未達	3.現状維持	コロナ禍で中止となっている朝市の再開、「あおいち」との共催イベント再開へ向けて、県漁協、夏泊支所と協議。 ⇒R5.5.13朝市実施。今後については、県漁協と継続協議。	—					林務水産課 青谷町総合支所
		歴史的資源等を掘き上げ交流人口を増加【~~文化財の整備・保存・活用~~】【文化芸術によるまちづくりの推進】【滞在型観光の推進】	○ジオ関連ガイドの養成 ○ガイド団体の設立	○ガイド団体が中心となって、青谷町内のジオサイトや歴史文化を案内できるガイドの養成を図る。 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定	○ガイド団体の育成 ○観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定	・ガイド団体の設立はできた。	青谷町ガイドネットワークと観光事業マッチング等により、ガイドネットワークの役割を確立し、継続した団体育成につなげることができた。	・引き続き、青谷町ガイドネットワークへの情報提供やガイド活動の活性化について支援を行う。 ・観光ガイドコースの設定。	観光ガイド体制を確立するため、青谷上寺地遺跡ボランティア講座受講生の人材活用、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図る。 ・観光ガイド体制の確立及び観光ガイドコースの設定 　青谷町ガイドネットワークが青谷町歴史探訪ガイドコース案（7コース）を設定し実施検討中 　11/13青谷地区地域探訪、3/5北前船・朱印船ウォーク2022で青谷町ガイドネットワークがガイド担当 ・青谷地域にぎわい創出事業として、青谷上寺地遺跡利活用推進事業でボランティア養成講座を実施（年6回） 　11月～3月にジオガイド講座と合わせて計6回の講座を鳥取市文化財課に委託し実施	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	観光ガイド体制を確立するため、青谷上寺地遺跡ボランティア講座受講生の人材活用、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図る。 ・観光ガイド体制の運用及び観光ガイドコースによるガイドの実施 　青谷町ガイドネットワークによる青谷町歴史探訪ガイドコースでのガイドの実施	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	青谷かみじち史跡公園オープンを視野に入れて、青谷地域の観光資源の観光ガイド体制を確立するため、青谷上寺地遺跡ボランティア講座受講生の人材活用、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図る。 ・観光ガイド体制の運用及び観光ガイドコースによるガイドの実施 　青谷町ガイドネットワークによる青谷町歴史探訪ガイドコースでのガイドの実施	—					観光・ジオパーク推進課 青谷町総合支所
			○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○青谷上寺地史跡公園の運営協力団体の育成	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○青谷上寺地史跡公園の運営協力団体の育成	○青谷上寺地遺跡保存管理計画・整備活用基本計画に基づいた整備 ○青谷上寺地史跡公園の運営協力団体の設立	青谷上寺地遺跡保存活用協議会への支援が主な活動であったが、活動内容がマンネリ化し、参加者や協力者が増える状況ではなかった。	・青谷上寺地遺跡保存活用協議会への参画 ・H30年度および共元年度に青谷上寺地遺跡ボランティア講座を実施し、青谷上寺地遺跡応援団の人材育成を進め、講座を修了したガイド候補者の増を図った。 H30年度：11人 令和元年度：14人	・R2年度から青谷上寺地遺跡の史跡整備工事着手されるにあたり、青谷上寺地遺跡保存活用協議会への支援を行い、連携する。 ・青谷上寺地遺跡ボランティア講座については、R2年度が最終年度だが、人材育成については「青谷上寺地遺跡を学ぶ会」「青谷上寺地遺跡友の会」とも連携し、R3年度以降も継続する方向で働きかけて行く。																	文化財課 青谷町総合支所
			○情報板等の検討・整備 ○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	○地域の歴史認識、地域への愛着を深めるための修景の検討・整備	JR青谷駅前整備に合わせ、観光案内板等の設置を検討した。 こばしまウォーキングは、地域の歴史認識を深めるというより、ウォーキングに重点を置いた内容であり、近年のウォーキングブームもあり参加者は多い。青谷町を知っていただく効果あり と判断している。再発見ツアーは、小学生の参加者が大部分を占めている。	JR青谷駅前観光案内版移設整備を完了 ・バス待合所を活用した観光情報提供等の取組により地域情報に触れる場づくりの拡充を図れた。 ウォーキングコースに、海岸の景色や神社等を組込み、青谷町内、県内、県外の参加者に青谷町の魅力をPRした。 ●地域の歴史資源に接するイベントにより、参加者を通じた青谷の魅力発信取組を創出した。	整備完了 青谷町内からの参加だけではなく、市外、県外からの参加者も多いため、歴史や自然に触れることができ、地域のことを知っていただく効果がある。青谷の魅力を発信できるウォーキングコースの検討。	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	R元年度で完了 JR青谷駅前広場観光案内版移設	都市企画課 観光・ジオパーク推進課 青谷町総合支所
					○史跡、文化財、自然等地域の素材を活かし、歴史認識、地域への愛着を深める				・あおいちウォーキング ・こばしまウォーキング（勝部地区） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—	C.未達	3.現状維持	・こばしまウオーキング（青谷地区） 来年オープン予定の施設を見学「青谷かみじち史跡公園コース」 　11月13日（日）開催、41名参加。（新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、青谷町在住者に限定し規模を縮小して開催した） 途中のこばし未検査が取れなかったので、ウォーキング後地域で作られたおにぎりやお菓子を配布した。	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・こばしまウオーキング（青谷地区） 今年オープンする史跡公園周辺を見学する。「青谷かみじち史跡公園コースⅡ」	—					観光・ジオパーク推進課 文化財課 青谷町総合支所

青谷町総合支所 「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画　進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間 短期 ～29年度	推進期間 中期 ～R元年度	推進期間 長期 ～R5年度	短期（～29年度）における総括 成果（何をどれだけ）	中期（～令和元年度）における総括 成果（何をどれだけ）	中期（～令和元年度）における総括 次年度以降への課題・方向性	R3年度 実施内容	R3年度 予算額（千円）	R3年度 決算額（千円）	R3年度 目標達成度	R3年度 事業の方向性	R4年度（実績） 実施内容	R4年度（実績） 予算額（千円）	R4年度（実績） 決算額（千円）	R4年度（実績） 目標達成度	R4年度（実績） 事業の方向性	R5年度（計画） 実施内容	R5年度（計画） 予算額（千円）	R5年度（計画） 決算額（千円）	R5年度（計画） 目標達成度	R5年度（計画） 事業の方向性	備考	担当課
	②青谷高校と連携した鳥取西いなばまちづくり会社活動支援	賑わい創出と地域経済の活性化、交流人口の拡大【農業とサービス業等の振興】			○「西いなばの逸品」商品開発				鳥取市西商工会及び青谷・気高・鹿野総合支所が連携し、それぞれが構成員となる西いなば実行委員会の方針案により、青谷高校生徒からアイデアを募り、西いなば地域の素材を使った商品の開発と道の駅「気楽里」を中心に販路確保を図る。 ・西いなば実行委員会を西地域3町の持続的発展に寄与する組織として規約改正。3支所管内年度事業の共有、情報発信に取り組むこととなった。	—	—	C.未達	3.現状維持	西いなば実行委員会の方針案により、青谷高校生徒からアイデアを募り、西いなば地域の素材を使った商品の開発と道の駅「気楽里」を中心に販路確保を図ることとしていたが高校からの要請で中止とした。	—	—	C.未達	5.休止、廃止、終了	—	—	—		廃止	青谷町総合支所
③安心・安全なまちづくり	①各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取組を図る。	自主防災組織の充実と連携【地域防災力の向上】	○自主防災組織の体制整備・連携	○自主防災組織の体制整備。 ○自主防災組織訓練の高度化の検討	○自主防災組織の体制整備。 ○自主防災組織訓練の高度化	・自主防災組織の資機材整備補助事業を活用して資機材の充実を図ることができた。 ・訓練実施の自主防災組織数が増えた。	資機材の整備と住民への意識啓発の取組により、防災意識の充実と自治会の組織強化につなげた。 鳥取市自主防災会地域防災力強化補助金 R2年3月末現在11団体利用。	訓練を実施している自主防災組織は多いが、ほぼ消火訓練であり、地震や水害の場合に対応した訓練の促進。	・自主防災組織の訓練促進 鳥取市自主防災会連合会活動助成事業　26団体利用 鳥取市自主防災会連合会地区防災訓練助成事業　5団体利用 ・鳥取市わがまち防災支援補助金等の周知と利活用推進 鳥取市わがまち防災支援補助金 2団体利用	—	520 130 550	B.概ね達成	3.現状維持	青谷町自治連合会研修会等において、各種助成制度を周知し、自主防災会組織の訓練促進を図る。 ・鳥取市わがまち防災支援補助金等の周知と利活用推進（3団体）	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	青谷町自治連合会研修会等において、各種助成制度を周知し、自主防災会組織の訓練促進を図る。 ・鳥取市わがまち防災支援補助金等の周知と利活用推進（3団体）	—					危機管理課 青谷町総合支所
		避難行動要支援者支援制度への登録啓発（新規登録、追加登録の促進）【地域防災力の向上】	○制度の啓発及び地域との連携	○制度の啓発と本事業における地域の役割について地域の理解を深める。	○制度の主旨、地域の役割等について周知を図り、登録を促進する。	登録者数408名	新規登録者数 H30年度：13人 R元年度：12人	まちづくり協議会等と連携しながら協働のまちづくりを進めるとともに、機会を捉えながら、より一層の周知、登録勧奨等を行う。	・青谷町自治連合会研修会(R04.03文書周知)、民生児童委員協議会定例会(R03.10)等の機会を捉えて制度周知と登録勧奨依頼 ・啓発チラシの作成・配付(支所、地区公民館、社会福祉協議会) ≪参考≫令和3年度末登録者数：314人	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷町自治連合会研修会(R05.02文書周知)、民生児童委員協議会定例会(R04.12)等の機会を捉えて制度周知と登録勧奨依頼 ・いきいきサロンへ出前講座の案内(R04.06)を行い、希望サロンへの制度説明を実施 ≪参考≫令和4年度末登録者数：288人	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷町自治連合会研修会、民生児童委員協議会定例会等の機会を捉えて制度周知と登録勧奨依頼 ・社会福祉協議会と連携し、機会を捉えた制度周知と登録促進を実施 ・啓発チラシの作成・配布	—					危機管理課 地域福祉課 青谷町総合支所
		ひとり暮らしの高齢者世帯へ「安心ホットライン」設置啓発【~~地域包括ケアの推進~~】【超高齢社会に向けたまちづくりの推進】	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図る。	○地域と連携しつつ、避難行動要支援制度と合わせて本事業の周知を図り、設置を促進する。	利用者数31名	新規設置者数 H30年度：2人 R元年度：1人	機会を捉えながら、より一層の周知、設置勧奨等を行う。	・青谷町自治連合会研修会(R04.03文書周知)、民生児童委員協議会定例会(R03.06文書周知)等の機会を捉えて制度周知と設置勧奨依頼 ・窓口に機器の見本を設置 ・老人クラブ連合会青谷町支部定例会長会(R04.12)で制度周知 ≪参考≫令和3年度末設置者数：25人	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷町自治連合会研修会(R05.02文書周知)、民生児童委員協議会定例会(R05.01)等の機会を捉えて制度周知と設置勧奨依頼 ・窓口に機器の見本を設置 ≪参考≫令和4年度末設置者数：27人	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷町自治連合会研修会、民生児童委員協議会定例会等の機会を捉えて制度周知と設置勧奨依頼 ・窓口に機器の見本を設置	—					危機管理課 長寿社会課 青谷町総合支所
		高齢者・障がい者等を地域で見守り支え合うネットワークづくり【~~地域包括ケアの推進~~】【超高齢社会に向けたまちづくりの推進】	○青谷町住民の健康・福祉の現状を地域住民へ伝える。	○青谷町住民の健康・福祉の現状について、地域住民の理解を深め、改善のための気づきを促す。	○青谷町住民に、健康・福祉の充実の必要性を伝えるとともに、地域住民と協働してできることを話し合いできることから取り組んでいく。	・健康教育(グループワーク含む)【6回】を実施し、健康に対する意識づけを図ることができた。 ・青谷地域振興会議においても、青谷地域の現状を共有し、地域支援の必要性について感じてもらえた。	地域住民が主体となって、2つの居場所づくりに着手	地域福祉力向上の必要性を機会を捉えながら訴えていくとともに、地域住民・まちづくり協議会等と一緒になってできることから取り組む。	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育や啓発等を実施 ・精神障がい者や引きこもりの方等の居場所づくりへの助言・今後の展開について検討等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒になって検討等	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育や啓発等を実施 ・精神障がい者や引きこもりの方等の居場所づくりへの助言・今後の展開について検討等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒になって検討等	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育や啓発等を引き続き実施 ・精神障がい者や引きこもりの方等の居場所づくりへの助言・今後の展開について検討等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒になって検討等	—					青谷町総合支所 西地域包括支援センター
	②地域・住民と協働し生活交通の維持確保を図る	持続可能な生活交通の維持確保【~~公共交通の確保~~】【交通ネットワークの充実】			○青谷町地域における生活交通の維持確保		持続可能な生活交通のあり方を行政と地域・住民が協働して検討していく必要があるため、R元年度から、町内の団体や地域の会議等で情報提供を行った。 交通政策課が「鳥取市生活交通創生ビジョン」を策定。	青谷地域は、将来路線バスが存続できなくなる可能性が高いので、今から地域の実情に合った持続可能な生活交通のあり方を地域や住民と協働して検討していく。	・青谷地域生活交通協議会の開催 （7月、8月、12月、3月4回開催 ・青谷地域における生活交通の在り方検討 公共交通等事業者との協議（6月、8月、3月） ・地域住民等への情報提供 青谷支所だより、市HPに情報掲載 小、中学校PTA役員へ説明会開催（9月） 自治連合会、まちづくり協議会、地区公民館等へ情報提供	—	—	A.達成	2.改善継続	・青谷地域生活交通協議会の開催 R4.8.31及びR5.1.24に開催 ・路線バスから市有償運送事業への移行に向けた具体的な実施計画の作成 小学校児童の通学手段確保のための実施計画を作成し、R4.8.31に開催した青谷地域生活交通協議会で協議・承認 ⇒R4.11.21実施計画に基づく実証運行を実施 ・地域住民等への情報提供 青谷支所だより、市HPに情報掲載、関係団体への説明会開催 R4.8.31に青谷地域生活交通協議会で、路線バスの現在の利用状況や現状について報告 R4.9.27に青谷小学校PTA執行委員会で、路線バスの現在の利用状況や現状について報告	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷地域生活交通協議会の開催 ・路線バスから市有償運送事業への移行に向けた具体的な実施計画の作成 ・地域住民等への情報提供 青谷支所だより等への情報掲載。	—					交通政策課 青谷町総合支所
	③地域防災力拠点施設の充実・強化	総合支所整備事業【地域防災力向上】			総合支所整備（耐震設備等改修）				青谷町総合支所耐震設備等改修 （耐震性能向上改修、建設設備改修（自家発電・受水槽）、バリアフリー改修、修繕更新等） 仮庁舎、一時移転の協議、実施設計内容を関係課・機関と協議	—	—	A.達成	3.現状維持	青谷町総合支所耐震設備等改修(実施設計) （耐震性能向上改修、建設設備改修（自家発電・受水槽）、バリアフリー改修、修繕更新等）	—	—	A.達成	3.現状維持	青谷町総合支所耐震設備等改修(実施設計) （耐震性能向上改修、建設設備改修（自家発電・受水槽）、バリアフリー改修、修繕更新等）	—					財産経営課 青谷町総合支所
	④超高速情報通信基盤の整備	光ファイバーによる超高速通信網の整備【地域情報化の推進】			光ファイバーによる超高速通信網の整備				光ファイバー未整備地域を対象に、国の高度無線環境整備推進事業を活用し、光ファイバーによる超高速通信網（通信部分）を整備した。 超高速通信網整備後において、一般家庭及び町内事業者等の接続及び利用の推進に取り組んだ。 3年度に青谷町全域整備事業完了。	—	—	A.達成	3.現状維持	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	R3年度で完了	情報政策課 青谷町総合支所
④まちづくりを支える自立した自治体経営	①公共施設の利活用	青谷上寺地遺跡展示館の利活用 旧青谷町商工会館の利活用 【魅力あふれる中山間地域の振興】			○青谷上寺地遺跡整備に伴う展示ガイダンス施設整備により閉館予定とされる青谷上寺地遺跡展示館の利活用検討 ○遊休施設となっている旧青谷町商工会館の利活用検討				・青谷上寺地遺跡展示館の閉館後の施設について、まちづくりの観点から、有効な利活用方法について検討する。 文化財課とR6年度以降の展示館利用について協議 ・旧青谷町商工会館の利活用について、西商工会と連携した利活用方法、民間事業者やNPO等による団体利活用を含めた、有効利用について検討・模索する。 西商工会と情報共有し有効な利活用検討を継続する ・地域生活拠点として、駅前広場の効果的な利用について、青谷ようこそ館を含めた、一帯の将来にわたる継続的なあり方を検討する。 青谷ようこそ館の運営協力と地域特産品開発等の取組を支援する中で、駅前広場の利用とにぎわい創出に取組	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷上寺地遺跡展示館の閉館後の施設について、まちづくりの観点から、有効な利活用方法について検討する。 文化財課とR6年度以降の展示館利用について協議 ・旧青谷町商工会館の利活用について、西商工会と連携した利活用方法、民間事業者やNPO等による団体利活用を含めた、有効利用について検討・模索する。 西商工会と情報共有し有効な利活用検討を継続する ・地域生活拠点として、駅前広場の効果的な利用について、青谷ようこそ館を含めた、一帯の将来にわたる継続的なあり方を検討する。 青谷ようこそ館の運営協力と地域特産品開発等の取組を支援する中で、駅前広場の利用とにぎわい創出に取組	—	—	C.未達	3.現状維持	・青谷上寺地遺跡展示館の閉館後の施設について、有効な利活用方法について検討を継続し、活用方法を決定する。 ・旧青谷町商工会館の利活用について、西商工会と連携した利活用方法、民間事業者やNPO等による団体利活用を含めた、有効利用について検討・模索する。 ・地域生活拠点として、駅前広場の効果的な利用について、青谷ようこそ館を含めた、一帯の将来にわたる継続的なあり方を検討する。	—					文化財課 都市企画課 農政企画課 青谷町総合支所